

業 務 概 要

—令和2年度のまとめ—

京都府立京都学・歴彩館

項 目		頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	3
	利用者等の状況	3
	館蔵資料の収集・所蔵状況	4
3	京都学研究推進の主な取組	5
	海外若手研究員受入事業	5
	陽明文庫デジタル画像の閲覧	5
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	6
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	9
5	大・小ホール・学習室について	22
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	23
7	館蔵資料の撮影と複写	31
8	資料の貸与	32
9	図書館間相互貸出	37
10	共催事業等	37
11	資料の収集・整理・保存	39
	図書資料	40
	古文書	45
	行政文書	46
	写真資料	46
	文書の保存と複製資料の作成	46
	燻蒸	47
管理委託現物資料	47	
12	調査	48
	行政文書	48
13	京都府行政文書修理事業	48
14	図書館実習・インターンシップ	48
15	新聞掲載	48
16	施設の状況	51
17	組織・職員数・業務分担・予算	51
18	令和2年度 of 主な活動	53
19	沿革	55
	参考資料	61

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

「京都学・歴彩館」は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学ととらえ、これを推進・発信することで京都文化のさらなる発展を目指すことを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ちつづけ、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は三つあり、まず旧総合資料館でも行っていた京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約85万点の収集・保存・公開を進めること、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。二つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。三つ目は海外の研究者を招へいし、京都文化を研究してもらうこと。この三点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

平成28年12月に一部オープンしてから多くのイベントを開催しており、令和2年度においては、コロナ禍にあつて、「京都を学ぶセミナー」をはじめとする計80回の各種主催講座を実施し、延べ約5,300人の参加を得た。

また、令和2年度から一部指定管理者制度を導入しており、指定管理者主催・当館共催に

よる講座・展示等の事業も実施した。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へ様々な形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

（1）利用者等の状況

○1階(交流フロア)、2階(探究フロア)の利用者数等について

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月7日から5月19日まで臨時休館

再開館後は、開館時間の短縮及び利用人数の制限を実施

事 項		利用者数等	事 項	利用者数等
展示室		6,469人	出納件数	7,839件
京都学ラウンジ		2,844人	書庫の図書資料	6,643件
学習室		6,550人	古文書等	515件
大ホール		7,283人	行政文書	681件
小ホール		3,973人	相談件数	8,812件
2階 探究フロア (府立大附属図書館含む)		40,776人	資料の使用 (管理委託現物資料含む)	57件 166点
合計		67,895人	資料の利用 (管理委託現物資料含む)	113件 368点
			資料の複写	6,414件 136,044枚
			資料の館外貸与 (管理委託現物資料含む)	37件 206点(冊)
開館日数	286日			
一日平均利用者数	237人			

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		令和2年度受払状況							累計 (令和3年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料 その他 ^{※1}	758	2,783	621	—	4,162	0	4,162	401,058冊 1,728点
	小 計	758	2,783	621	—	4,162	0	4,162	402,786(点)
文書資料	古文書 ^{※2}	—	4	2	—	6	—	6	140,645点
	行政文書	—	—	—	483	483	—	483	94,302点
	写真資料	—	—	—	—	—	—	—	138,096点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	23,788点
	その他	—	—	—	—	—	—	—	256点
小 計	0	4	2	483	489	—	489	397,087点	
^{※3} 管理委託 現物資料	美術工芸資料	—	57	—	—	57	—	57	11,398点
	歴史民俗資料	—	1,139	—	—	1,139	—	1,139	20,099点
	その他 ^{※4}	—	—	—	—	—	—	—	23,663点
	小 計	0	1,196	0	0	1,196	—	1,196	55,160点
合 計		758	3,983	623	483	5,847	0	5,847	855,033冊(点)

※1 版木ほか。

※2 古文書の受入点数は、1件を一括して1点としている。

※3 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設にて収蔵)

※4 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、京都関係パンフレット84冊をKパンフレットとして、京都官庁関係パンフレット52冊をMKパンフレットとして簡易整理し、総数2,632冊を「京の記憶アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組

(1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦を受けた優秀な外国人若手研究者を選考の上、当館の「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員（令和2年度）

氏名（敬称略）	国・地域	専門	研究テーマ	受入期間
パベル・スミルノフ	ロシア	韓国朝鮮歴史文化及び日本中世史	『院政期における「辞官申任」制度の変遷過程』『源俊房「水左記」自筆本の総合的研究』	令和2年 4月16日 ～令和3年 3月15日

※上記の他、令和2年度研究員として受入決定済であった2人（台湾及びフランスの研究者）については、コロナ禍に伴う出入国制限措置のため、年度中の招へいは実現せず。

(2) 陽明文庫デジタル画像の閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

令和2年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	54人
閲覧利用資料数	4,433件
閲覧ページ数	5,796ページ

(備考：令和2年6月1日～令和3年3月31日実績 令和2年3月7日から令和2年5月31日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用休止)

(3) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴彩館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

令和2年度においては、『京都を学ぶ【洛西編】』（令和元年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【洛西編】」を開催するとともに、「洛東の文化資源」共同研究会（令和元年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【洛東編】』を令和3年3月に刊行しました。また、新たに「伏見の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

洛西の文化資源共同研究参加メンバー（平成30～令和2年度）

(五十音順 敬称略 肩書は平成30年度時)

朝比奈 英夫	京都光華女子大学キャリア形成学部 教授
	江戸時代の文学遺品からみた洛西地域の文化 －中路家旧蔵資料の紹介－
鍛治 宏介	京都学園大学人文学部 准教授
	木島神社の歴史 －木島神社・神服氏関係史料集成－
小林 啓治	京都府立大学文学部 教授
	洛西地域の総力戦体制 －地域メディアとしての『神足月報』の役割を中心に－
中野渡 俊治	花園大学文学部 教授
	洛西と王権 －大原野社の位置づけから－
野田 泰三	京都橘大学文学部 教授
	中近世移行期洛西地域における中間層の動向について －中路氏を素材として－

古田 裕三	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	古都京都の竹工芸の科学によるブランド化と市場創生・放置竹林撲滅のための基礎的研究 ―洛西・乙訓地区を先端例に―
町田 香	京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター日本庭園研究部門 嘱託研究員
	京都洛西地域の庭園文化
村山 弘太郎	京都外国語大学国際貢献学部 講師
	清涼寺をめぐる二つの宗派

洛東の文化資源共同研究参加メンバー（令和元～3年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和元年度時）

安達 敬子	京都府立大学文学部 教授
	平安物語と白河院 ―特に『夜の寝覚』末尾欠巻部をめぐって―
井上 えり子	京都女子大学家政学部 准教授
	宮川町の成立過程と近代化 ―花街の空間構成に関する研究―
木立 雅朗	立命館大学文学部 教授
	登り窯の終焉と記憶をめぐる文化資源 ―五条坂・道仙化学製陶所の民俗考古学―
佐野 静代	同志社大学文学部 教授
	無鄰庵に先行する琵琶湖疏水利用庭園と山県有朋の人脈による別邸群形成
西 弥生	種智院大学文学部 講師
	醍醐寺の桜会
増淵 徹	京都橘大学 教授
	大宅廃寺の再検討
本井 牧子	京都府立大学文学部 准教授
	橋弁慶伝承とその周辺 ―義経と弁慶との出会い―
吉江 崇	京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授
	鴨東吉田地域における浄蓮華院の創建と「家」
川口 成人	京都府立京都学・歴彩館
	応仁・文明の乱後の足利義政政権と東山・北白川
吉岡 直人	京都府立京都学・歴彩館
	安祥寺僧恵運の入唐について―新しい入唐交通のもつ歴史的意義―

伏見の文化資源共同研究参加メンバー（令和2～4年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和2年度時）

國下 多美樹	龍谷大学文学部 教授
	遺跡からみた伏見深草地域の弥生文化－深草遺跡を中心に－
小林 大祐	京都文教大学総合社会学部 専任講師
	近世伏見の景観形成と変容に関する研究
谷 徹也	立命館大学文学部 准教授
	豊臣・徳川期の伏見城に関する研究
中村 貴子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授
	伏見酒造蔵群における京都府産酒造用原料米の価値
橋本 章	京都文化博物館 学芸員
	伏見と巨椋池の生活文化
東 昇 片山 正彦	京都府立大学文学部 准教授
	枚方市鍵屋資料館学芸員・京都府立大学共同研究員
	淀川舟運と京街道の宿場町－伏見を中心に－
杉本 弘幸	京都府立京都学・歴彩館
	伏見義民と近代
寺嶋 一根	京都府立京都学・歴彩館
	江戸時代の御香宮－元禄・宝永期を中心に－

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
令和2年 5月25日(月) ～7月5日(日) (6/10は休館) [開場日数41日]	「新収蔵品展」 ・展示品：山崎隆夫「沼宴」(2008年)、三代三木表悦「深山漆絵箱」(2001年)など40点 ・附帯事業：ギャラリートーク ・概要：平成25年度から30年度にかけて収集された資料から、初めての公開となる各分野の約40点を展示 日本画の山崎隆夫、鳥頭尾精洋画の中村善種、染織の澁谷和子、坂井修、朝倉美津子、陶芸の木村盛伸など京都で活躍の美術、工芸作家たち(物故を含む)の作品をはじめ、分野も多彩な貴重な資料を紹介	1階 展示室	<u>598人</u> (14人/日) ギャラリー トーク 6/25:15人
令和2年 8月8日(土) ～10月11日(日) (8/10、12、 9/9、21、22、 は休館) [開場日数60日]	京都府ミュージアムフォーラム「京都まるごとヒストリー」～丹後から山城まで博物館大集合!～ ・展示品：『主基地方風俗歌屏風』(宮内庁所蔵)など36点 ・附帯事業：記念講演会(8/22) ギャラリートーク ・概要：丹後地域から山城地域までの京都府の歴史を京都府ミュージアムフォーラム加盟館の所蔵品でたどる展覧会を開催 前期は天皇陛下の即位に伴い、令和元年11月に大饗の儀において披露された主基(すき)地方風俗歌屏風(宮内庁所蔵)六曲一双を特別展示		<u>2,036人</u> (34人/日) 記念講演会 8/22:154人 ギャラリー トーク 9/17:15人 10/3:20人
令和2年 10月17日(土) ～12月6日(日)	「仮面展」 ・展示品：嵯峨面「天狗」、壬生面「猿」、太秦広隆寺牛祭の面「摩多羅神」、京劇仮面(中国)など150点		<u>2,237人</u> (46人/日) ギャラリー

<p>(11/3、11、23、 は休館) [開場日数 48 日]</p>	<p>・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 郷土玩具蒐集家の朧(みかづき) 健之助氏のコレクション等の中から仮面を取り上げて公開 嵯峨面や広隆寺牛祭面など京都にゆかりの面はもとより、日本各地の玩具面のほか、中国や朝鮮半島、ネパールやブータンなど海外の珍しい仮面も紹介</p>		<p>トーク 10/22: 15 人 10/29: 24 人</p>
<p>令和 2 年 12 月 12 日 (土) ～令和 3 年 1 月 10 日 (日) (12/28～3.1/4 は休館) [開場日数 22 日]</p>	<p>「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学ー京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵資料展ー」 ・ 附帯事業: 学生による展示解説 (歴史学科) ・ 概要: 文学部の各学科が、それぞれの特色を活かしたテーマで展示を企画し、学生が主体となって、歴彩館の資料を調査・研究し、キャプションを作成した。 日本・中国文学科「細川幽斎とその周辺」 和食文化学科「和菓子と季節・行事」 欧米言語文化学科「欧米人が見た明治時代の宇治」 歴史学科「日本文化史研究」の成果発表 (「葵祭の行列の断絶と再興」、「茶屋と寺社、集う人々」、「見えない敵に立ち向かえー京都における防疫の記録ー」) ・ 展示解説集を配布</p>	<p>1 階 展示室</p>	<p><u>460 人</u> (21 人/日) 学生による 展示解説 12/24: 16 人</p>
<p>令和 3 年 1 月 16 日 (土) ～3 月 7 日 (土) (2/10～12、2/23 は休館) [開場日 47 日]</p>	<p>令和 2 年度東寺百合文書展 ユネスコ「世界の記憶」登録 5 周年記念「描かれた中世ー差図の世界ー」 ・ 展示品: 「山城国桂川用水差図案」など 62 点 ・ 附帯事業: 記念講演会 (3/6)、展示解説 ・ 概要: 中世の「差図」をテーマに取り上げる。「差図」とは、おもに墨色で描かれた比較的簡略な絵図。東寺百合文書には「山城国桂川用水差図案」をはじめとする差図と関連文書も併せ</p>		<p><u>1,138 人</u> (24 人/日) 記念講演会 3/6: 172 人 ギャラリー トーク 1/21: 23 人 1/30: 13 人</p>

	て展示することにより、「描かれた資料」を通して中世社会の一端を紹介		2/18:20人 2/27:16人
合計			6,469人

○ 常設展等

・ 1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
令和2年3月11日（水） ～令和2年12月9日（水）	光庭2	山本ゆう「小さなかくれんぼ」ほか2点
令和2年12月9日（水） ～令和3年6月9日（水）	光庭2	信ヶ原良和「イメージネーションを描く」

・ 1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
令和2年6月1日（月） ～7月7日（火）	府大生による…探検！発見！歴彩館—コラボで探る京都学—（2）	京都府立大学文学部 歴史学科
令和2年7月9日（木） ～8月6日（木）	シベリアから舞鶴への生還—ユネスコ世界記憶遺産登録5周年記念—	舞鶴引揚記念館
令和2年8月7日（金） ～9月8日（火）	丹後郷土資料館 丹波・丹後の新たなお宝—京都府暫定登録・新指定文化財から—	京都府立丹後郷土資料館
令和2年9月10日（木） ～30日（水）	府立大学ACTR（地域貢献型特別研究）研究成果パネル展	京都府立大学京都地域未来創造センター
令和2年10月1日（木） ～11月1日（日）	府大生による…探検！発見！歴彩館—コラボで探る京都学—（3）	京都府立大学文学部 歴史学科

令和2年11月2日（月） ～12月8日（火）	生きた植物の博物館－京都府立植物園－	京都府立植物園
令和2年12月14日（月） ～令和3年1月31日（日）	鴨川ボランティア啓発パネル展	鴨川を美しくする会
令和3年2月1日（月） ～3月9日（火）	京都の祭り・行事パネル展	京都市文化財保護課
令和3年3月11日（木） ～24日（水）	第9回子ども読書本のしおりコンテスト	京都府教育委員会 京都府図書館等連絡協議会
令和3年3月25日（木） ～4月28日（水） ※ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月24日から休室	府大生による…探検！発見！歴彩館－コラボで探る京都学－（4）	京都府立大学文学部 歴史学科

・ 1階小ホール展示

期 間	内 容
令和2年8月8日（土）～10月11日（日）	京都府ミュージアムフォーラム参画館パネル展示

・ 2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
令和3年3月11日（木） ～3月24日（水）	「第9回子ども読書本のしおりコンテスト」入選作品巡回展 （主催：京都府教育委員会・京都府図書館等連絡協議会） ※京都学ラウンジと2ヵ所で開催

◆ 講演・シンポジウム

○ 展示関連講演

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和2年 8月22日（土）	<p>京都府ミュージアムフォーラム「京都まるごとヒストリー」～丹後から山城まで博物館大集合！～関連講演</p> <p>共催：京都府ミュージアムフォーラム</p> <p>○講演</p> <p>国際日本文化研究センター助教 呉座 勇一 「中世京都と戦乱・一揆」</p> <p>JT 生命誌研究館館長・京都大学名誉教授 ・京都産業大学名誉教授 永田 和宏 「令和の大嘗祭：主基地方風俗歌・屏風歌と京都への思い」</p>	154人 大ホール
令和3年 3月6日（土）	<p>令和2年度 東寺百合文書展 ユネスコ「世界の記憶」登録5周年記念「描かれた中世－差図の世界－」講演会</p> <p>○講演</p> <p>京都学・歴彩館館長 金田 章裕 「東寺領差図について」</p> <p>早稲田大学名誉教授 海老澤 衷 「備中国新見荘の景観と地頭方百姓谷内家差図」</p>	172人 大ホール

◆ 講座

○ 京都を学ぶセミナー「洛西編」

「洛西の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【洛西編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和2年 6月23日（火）	<p><第1回></p> <p>講演 京都光華女子大学教授 朝比奈 英夫 「京都、市井の文人たち－洛西地域の文化環境－」</p>	94人 大ホール

令和2年 7月21日（火）	<第2回> 講演 京都府立大学教授 小林 啓治 「地域メディアからみたアジア・太平洋戦争と乙訓地域」	94人 大ホール
令和2年 8月8日（土）	<第3回> 講演 京都橘大学教授 野田 泰三 「三好から明智、細川へー主家を渡り歩いた洛西土豪ー」	228人 大ホール
令和2年 9月8日（火）	<第4回> 講演 京都外国語大学准教授 村山 弘太郎 「御紋付道具拝領の意味ー江戸時代の清凉寺ー」	138人 大ホール
令和2年 10月20日（火）	<第5回> 講演 京都先端科学大学教授 鍛冶 宏介 「蚕の社の歴史ー祈雨の神から養蚕の神へー」	240人 大ホール
令和2年 11月10日（火）	<第6回> 講演 京都芸術大学非常勤講師 町田 香 「洛西が生み出した日本庭園の魅力」	172人 大ホール
令和2年 12月8日（火）	<第7回> 講演 京都府立大学大学院教授 古田 裕三 「竹の歴史・伝統工芸から竹を科学する」	175人 大ホール
令和3年 3月9日（火）	<第8回> 講演 清泉女子大学教授 中野渡 俊治 「洛西・大原野社と藤原氏」	225人 大ホール

○ 海外若手研究員受入事業 府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内 容・発表者（敬称略）	参加者数
令和2年 8月27日（木）	海外若手研究員による府民向けセミナー ー日本研究の新地平ー	合計 100人
9月3日（木）	発表 パベル・スミルノフ	小ホール

	① 「日本律令制における勤務評定と昇進 ー唐・高麗の実態との比較を中心にー」 ② 「平安時代における官位・官職の昇進事由について」	
--	---	--

○ 国際研究集会

東京大学史料編纂所「天皇家・公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト、科学研究費・基盤研究(S)「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展ー知の体系の構造伝来の解明」(研究代表者: 田島公〔東京大学史料編纂所教授〕)との合同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等 (敬称略)	参加者数
令和2年 10月25日(日)	<p>御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地</p> <p>午前の部: 平安時代の貴族の邸宅(寝殿造)・宮殿に関する報告</p> <p>○報告</p> <p>東京大学名誉教授 藤井 恵介 「陽明文庫等所蔵「寝殿造建築部材」」</p> <p>京都学・歴彩館京都学研究員 Smirnov Pavel (パベル・スミルノフ) 「水左記の邸宅記事の紹介」</p> <p>南カルフォルニア大学准教授 Jason Webb 「写本研究・目録学研究・建築史研究についての「英語圏からの一言」 ※ZOOM参加</p> <p>京都学・歴彩館館長 金田 章裕 「「宮城図」をめぐってー九条家本・陽明文庫本・東山御文庫本への系譜ー」</p> <p>東京大学史料編纂所教授 田島 公 「土御門烏丸内裏造営と「裏築垣」ー陽明文庫本『除目次第』紙背文書から」</p> <p>午後の部: 内匠寮本「中井家文書」の研究報告</p>	<p>61人</p> <p>小ホール</p> <p>内1人は 海外から ZOOM参加</p>

	<p>○報告</p> <p>東京大学名誉教授 藤井 恵介</p> <p>「全体の概要」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡</p> <p>「中井家文書の建築史研究の活動と可能性」</p> <p>宮内庁書陵部図書課図書調査官 小森 正明</p> <p>「宮内庁書陵部図書課図書寮文庫所蔵「内匠寮本」について」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科博士課程 岩田 会津</p> <p>「安政度京都御所造営関係資料にみる厠空間」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科博士課程 中村 駿介</p> <p>「京都御所御常御殿の荘厳にみる空間構成－慶應三年襖絵修理を題材に－」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科博士課程 華 揚</p> <p>「清代の官式建築に関する造営史料の保存と研究の現状」</p> <p>九州大学大学院芸術工学研究院准教授 加藤 悠希</p> <p>「寛政度内裏造営における復古の論理」</p>	
--	---	--

○ 陽明文庫講座

公益財団法人陽明文庫、東京大学史料編纂所との合同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和3年 3月14日（日）	<p>陽明文庫資料からの新発見</p> <p>○講演</p> <p>公益財団法人陽明文庫文庫長 名和 修</p> <p>「孔林楷杯」</p> <p>○報告</p> <p>東京大学史料編纂所教授 田島 公</p> <p>「院政期の紙背文書から」</p> <p>東京大学史料編纂所教授 尾上 陽介</p>	183人 大ホール

	「修理を終えた史料から」 東京大学史料編纂所准教授 遠藤 珠紀 「豊臣秀次に関する書状から」	
--	--	--

※本講座は当初、令和3年2月13日（土）に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言が京都府に発出されたため、日時を変更して開催しました。

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、小ホールにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師（敬称略）	参加者数
令和2年 4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
令和2年 5月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
令和2年 6月4日、 11日、18日、 25日	世界の中の古代日本ー海外からの文化・文物の移入ー	京都学推進課 吉岡 直人	79人
令和2年 7月2日	奈良時代に猛威を振るった天然痘ー歴史の中の疫病流行ー	京都学推進課 吉岡 直人	34人
令和2年 7月9日、 16日、8月 6日、20日	シベリアから舞鶴への生還ーユネスコ世界記憶遺産登録5周年記念ー ①引き揚げと抑留と舞鶴港 ②抑留を伝える記憶遺産～舞鶴への生還～ ④次世代へ語り継ぐ世界の記憶（世界記憶遺産）登録5周年特別企画「東寺百合文書」と「舞鶴への生還」 ③史実の継承 世界へ未来へ （施設点検のため日時変更）	①②舞鶴引揚記念館 長嶺 睦 ④資料課 若林 正博、 舞鶴引揚記念館 長嶺睦、鴨沂高校、舞鶴引揚記念館高校生語り部 ③舞鶴引揚記念館 長嶺睦、舞鶴市国際交流員レ・アルトゥル	153人

令和2年 9月10日、 17日、24日、 10月1日	私の洛中洛外図研究	資料課 大塚 活美	188人
令和2年 10月8日、 15日、22日、 29日	文化財建造物の世界	副館長 平井 俊行	183人
令和2年 11月5日、 12日、19日、 26日	生きた植物の博物館—京都府立植物園のすばらしき世界— ①京都府立植物園のランドスケープデザイン ②観覧温室に咲く花々～色鮮やかな熱帯植物を紹介～ ③京都府立植物園で働く中で ④中国黒竜江省の野生ハスの国内初開花について	京都府立植物園 ①中井 貞 ②山方 政樹 ③植岡 壮平 ④山本 和喜	220人
令和2年 12月3日	鴨川の渡河と橋	館長 金田 章裕	135人
令和2年 12月17日、 24日	都と鄙を行き交うひとびと —室町時代の旅と京都—	京都学推進課 川口 成人	138人
令和3年 1月14日	政治・文化・デモクラシー —1920～30年代普通選挙の社会史—	京都学推進課 杉本 弘幸	50人
令和3年 2月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
令和3年 3月11日、 18日、25日	1683・京のできごと —江戸時代の京都と暮らし—	京都学推進課 寺嶋 一根	111人

※11月26日開催分については京都府立植物園内植物園会館2階研修室、12月3日開催分については大ホールで実施。4月、5月、1月21日、28日、2月は中止。

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和2年12月7日（月）	英語字幕付『羅生門』上映と関連資料紹介	150人 大ホール

○ 歴史資料講座

当館が所蔵する文書や絵図等をテキストとして、資料の特徴、くずし字の読み方などを解説する歴史資料講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和2年10月3日（土）	京都府における未成鉄道研究史 資料課 若林 正博	36人 小ホール
令和2年11月18日（水）	東寺百合文書で歴史を遊ぼう！～荘園フィールドワークのすすめ～ 資料課 伊藤 実矩	31人 小ホール
令和3年1月20日（水）	東寺百合文書にみる『指図』の世界 資料課 小森 浩一	32人 小ホール
令和3年3月17日（水）	文書（もんじょ）を読む－江戸時代の借家事情－ 資料課 山本 琢	35人 小ホール

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和2年7月6日（月）	祇園祭－古写真で親しむ－ 資料課 大塚 活美	23人 小ホール
令和2年8月4日（火）	歴彩館でボードゲームを楽しもう！（寺子屋講座） 資料課 藤原 直幸	11人 小ホール

令和2年9月15日（火）	災害関係資料に親しむー救援活動を中心にー 資料課 白川 哲夫	31人 小ホール
令和2年10月13日（火）	国勢調査資料に親しむ 資料課 大久保 秋実	25人 小ホール
令和2年11月24日（火）	江戸時代の京都案内記に親しむ 資料課 合田 淳	71人 小ホール
令和2年12月15日（火）	古典籍に親しむー細川幽斎とその周辺ー 京都府立大学 文学部日本・中国文学科准教授 竹島 一希	56人 小ホール
令和3年1月12日（火）	万国博覧会に親しむ 資料課 大瀧 徹也	34人 小ホール
令和3年3月12日（金）	近代京都の旅行案内書に親しむ 資料課 吉田 奈央	57人 小ホール
令和3年3月30日（火）	京の桜を楽しむー醍醐の桜を中心にー 資料課 田中 まさみ	66人 小ホール

○ 京都の出版社に聞く

京都の出版社の方をお招きし、自社のこと、刊行している出版物のこと、御自身の日々の仕事内容等について御講演いただきました。また、講演する出版社が発行した所蔵資料や講師が自社から持参された資料を会場に展示し、参加者の方々に手にとって御覧いただきました。参加者からの多くの質問に、講師にお答えいただき好評を得ました。幅広い年代の方に御参加いただきました。

年月日	講師(敬称略)	参加者数
令和2年11月8日（日）	法律文化社 代表取締役兼社長 田摩 純子	20人 小ホール

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
令和2年10月1日（木） ～10月13日（火）	「京都まるごとヒストリー」関連資料	当館展覧会	318
令和2年10月15日（木） ～12月8日（火）	「仮面展」関連資料	当館展覧会	525
令和2年10月15日（木） ～11月10日（火）	「京都を学ぶセミナー洛西編第5回」関連資料	当館主催セミナー	250
令和2年11月5日（木） ～12月8日（火）	「京都を学ぶセミナー洛西編第6回」関連資料	当館主催セミナー	260
令和2年12月1日（火） ～12月27日（日）	「京都を学ぶセミナー洛西編第7回」関連資料	当館主催セミナー	100
令和2年12月1日（火） ～令和3年3月9日（火）	昭和期の映画演劇「羅生門」「浪花千栄子」関連資料	当館主催セミナー	250
令和3年1月14日（木） ～3月9日（火）	「東寺百合文書展」関連資料	当館展覧会	400
令和3年1月14日（木） ～4月13日（火）	「京都を学ぶセミナー洛西編第8回」関連資料	当館主催セミナー	270

加えて、資料紹介リストを作成し、次の展覧会及び講演会等で配布しました。

- ・「新収蔵品展」
- ・「京都を学ぶセミナー洛西編」（各回）
- ・7月の京都学ラウンジミニ講座共催特別企画「シベリア抑留、引揚から舞鶴への生還ーユネスコ世界の記憶（世界記憶遺産）登録5周年記念ー」
- ・「海外若手研究員による府民向けセミナー」
- ・「天橋立を世界遺産にする会」講演会

◆ SNS

館のイベント情報、休館日や開館時間、京の記憶アーカイブの更新情報（お知らせ、資料ガイド等）、資料紹介や調査（レファレンス）事例、北山エリアの話題等を広く発信するため、平成31年4月22日からTwitterとFacebookを始めました。本年度は333件発信しました。

○ #京都あれこれ

「#京都あれこれ」として、所蔵資料を紹介する投稿を行いました。本年度は『鴨脚

家文書』や『吉例顔見世興行[1941-1955]』などを取り上げ、合計52回投稿しました。

◆ 映像コンテンツ

館の利用促進のため、動画「図書・雑誌の探し方（京都府立京都学・歴彩館）」を作成し、京都府HP「インターネット放送局生涯学習講座」(<http://spogaku.pref.kyoto.lg.jp/>)に公開しました。

5 大・小ホール・学習室について

ア 大・小ホール

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月7日(土)～5月31日(日)は利用休止

イ 学習室について

86席の自習室については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月7日(土)～9月30日(水)閉室とした。令和2年10月1日(木)から席数を半分にし、平日のみ開室

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール
令和2年4月	0日	0人	0人	0人
5月	12日	0人	0人	0人
6月	29日	0人	127人	100人
7月	27日	0人	193人	160人
8月	29日	0人	467人	243人
9月	27日	0人	467人	258人
10月	30日	934人	1,806人	658人
11月	27日	982人	886人	549人
12月	26日	1,018人	1,117人	445人
令和3年1月	25日	975人	369人	327人
2月	25日	1,210人	80人	346人
3月	29日	1,431人	1,771人	887人
計	286日	6,550人	7,283人	3,973人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207席）で、開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月7日から5月19日まで臨時休館

(1) 京都資料総合閲覧室の利用状況

年月	開 室 日 数	利用者 数 (月単位)	出納の状況							
			図書（書庫資料）		古文書		行政文書		合計	
			件数	冊数	件数	点数	件数	点数	件数	点(冊)数
2年 4月	0	0 (0.0)	0	0	0	0	3	66	3	66
5月	12	697 (58.1)	171	1,852	7	72	32	144	210	2,068
6月	29	3,299 (113.8)	607	3,498	20	116	66	474	693	4,088
7月	27	3,245 (120.2)	628	3,648	46	224	54	372	728	4,244
8月	29	3,933 (135.6)	731	3,312	42	1,320	73	567	846	5,199
9月	27	3,846 (142.4)	746	3,936	48	659	81	496	875	5,091
10月	30	4,993 (166.4)	777	4,083	49	1,500	90	458	916	6,041
11月	27	4,406 (163.2)	647	3,354	69	694	72	549	788	4,597
12月	26	4,147 (159.5)	631	3,698	69	308	57	440	757	4,446
3年 1月	25	4,058 (162.3)	613	3,336	48	266	59	505	720	4,107
2月	25	4,002 (160.1)	498	2,832	63	341	38	239	599	3,412
3月	29	4,150 (143.1)	594	3,737	54	279	56	659	704	4,675
合計 (1日あ たり)	286	40,776 (142.6)	6,643 (23.2)	37,286 (130.4)	515 (1.8)	5,779 (20.2)	681 (2.4)	4,969 (17.4)	7,839 (27.4)	48,034 (168.3)

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のとおり対応しました。

令和2年2月29日（土）～	一般閲覧席利用停止
令和2年3月7日（土）～	臨時休館
令和2年4月18日（土）～	臨時休館（完全閉館） 遠隔サービスも停止 ※職員は、原則在宅勤務
令和2年5月18日（月）～	遠隔サービス再開（相談受付、複写受付など）
令和2年5月20日（水）～	全資料予約閲覧のみで再開館 ※17時閉館 閲覧席削減（4人がけの机に1人） 閲覧時間制限（1人90分）
令和2年6月1日（月）～	公文書・古文書は予約制 ※17時閉館 閲覧席削減（4人がけの机に1人 6人がけの机に2人） 短時間での利用協力呼びかけ
令和2年10月1日（木）～	公文書・古文書は予約制 ※17時閉館 閲覧席削減（4人がけの机に2人 6人がけの机に3人） 短時間での利用協力呼びかけ

（2）資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

令和2年度は、電子メールによる相談が増加しました。

（参考）令和2年度 文書による相談 468件（うち電子メール459件）

令和元年度 文書による相談 232件（うち電子メール217件）

ア 月別相談件数

	口頭	電話	文書 (電子メール含む)	合計
2年4月	0	79	23	102
5月	177	166	44	387
6月	689	272	45	1,006
7月	644	206	44	894
8月	685	191	57	933
9月	787	174	50	1,011
10月	650	234	47	931

11月	592	135	37	764
12月	545	135	27	707
3年1月	522	120	27	669
2月	508	114	34	656
3月	558	161	33	752
合計	6,357	1,987	468	8,812

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	2,464	746	185	3,395
複写依頼	1,721	183	42	1,946
特定図書の所蔵調査	1,241	556	92	1,889
図書に関する書誌的調査	43	12	1	56
人名・地名等の読み方調査	100	13	18	131
人物・団体調査	64	34	24	122
内容調査	414	188	49	651
その他	310	255	57	622
計	6,357	1,987	468	8,812

ウ 相談事例

○京都の過去の疫病について知りたい。

【回答】

『京都の医学史, [本編]』(①) pp. 36-44 第一篇 平安時代の医学・医療の第三章「疫病流行と疾病観」、pp. 100-107 第二篇 鎌倉時代の医学・医療 第五章「鎌倉時代の疾病史」に京都の疫病についての記載がある。第三篇以降は、疫病や疾病に関する章立てはされていないが、文章内では疫病について書かれている箇所はある。

『京都の医学史, 資料篇』(②) pp. 413-445「京都の医事年表」内に、疾病・災害の項目あり。

『京の医学：慈仁の系譜と府立医大の草創』(③) pp. 207-229「医事年表」に、疫病のことも記載あり。

『京都府保健所五十年史』(④) pp. 112-165「衛生行政大年表」内に、明治以降の府の保健衛生の動きの項目があり、疫病についても触れられている。

『京医師の歴史：日本医学の源流』(⑤) pp. 35-37、pp. 176-185、pp. 203-204に、平安時代、明治・大正時代、第二次世界大戦後の引揚時の伝染病についての記述あり。

『近代都市の衛生環境, 京都編, 復刻』(⑥)の7~16巻は「疾病・医療」となっており、明治期から戦前期を中心とした京都における感染症などの疾病とそれに関連する資料が収録されている。疾病に関する資料は、主に7~9巻に収録されている。

『史料京都の歴史, 5 社会・文化』(⑦) pp. 157-162 道理の時代(1185~1333)の章

の中で「天変地異と疫病の流行」の項あり。pp. 216-221 ばさらの時代（1334～1492）の章の中で「天災と飢饉・疫病」の項あり。pp. 318-322 風流の時代（1568～1599）の章の中で「天災地変と疫病の流行」の項あり。それぞれ古文書が掲載されている。他にも、各時代の災害についての項目の中で疫病についても述べられている箇所がある。

『日本疾病史』（⑧）には国内におけるさまざまな疾病の歴史が書かれている。

○丹波の昔話「オオカミばあさん」が収録されている資料を紹介してほしい（丹波の山間に住むおばあさんが村人を襲うオオカミを殺して消えるというような内容）。

【回答】

以下の資料①～⑤に紹介されていた。

いずれも瑞穂町（現京丹波町）井尻に伝わる民話として紹介されている。

①『京都丹波・丹後の伝説』pp. 56-57に「狼哀話」というタイトルで掲載。

②『京都新聞』昭和50年6月7日地方版（丹後・丹波）の連載「ふるさと昔ばなし16」

「狼哀話」というタイトルで掲載。①の京都新聞連載時の記事である。

③『檜山村誌』p. 831に「恵長の供養塔（井尻の狼）」のタイトルで掲載。p. 832には恵長供養塔の写真が掲載されている（供養塔が存在することはすべての資料に書かれている）。

④『広報みずほ：新穂月報：月刊ミズホ，縮刷版』160号（昭和47年7月）の連載「ふるさとの記④」に、「瑞穂の狼（井尻）」というタイトルで掲載。

⑤『ふるさと口丹波風土記』p. 20に「瑞穂の狼」というタイトルで掲載。

なお、内容については、資料①②と③～⑤でやや異なっている。

①②の内容

老婆と狼が暮らしていた。村人たちが襲われる事件が続いており、狼のしわざだろうと噂されていた。老婆は、狼が旅人や村人を襲うのは狼の子が人間に殺されたことの報復だと分かっていたが、お坊さんが狼に読経をしている途中で、涙ながらに銃弾で狼を撃ちぬいた。老婆は丘の上まで狼の死骸を運び供養塔を建て、その後老婆の行方も分からなくなったという。

③～⑤の内容

井尻に一軒の農家があり、その家に居着いた狼に対して老婆は恐ろしく思っていた。ある日一人の老僧がその家の前で読経すると狼の姿が消えうせた。老僧は供養碑を建てることを教えて去り、狼が消えたことを村人は喜び供養塔を建立した。

○平成の大合併前後に、京都府内市町村の議員数や自治体の職員数が、どう変化したかを調べている。何か参考になるものはないか。

【回答】

『京都府統計書，平成 29 年』(①)に、京都府職員数、京都市職員数、市町村（京都市を除く）職員数がそれぞれ最近 5 年分掲載されており、最近 5 回分の京都府議会議員選挙の定数も掲載されている。京都府議会以外の京都府内各市町村の議会議員の定数は載っていない。『京都府統計書』は毎年刊行されており、合併前後の年を見比べることで、議員数・職員数の変化を調べることができる。

『京都府市町村のあらまし，平成 30 年度版』(②)に、京都府内各市町村の議員数、職員数が掲載されている。京都府議会の議員数、京都府の職員数は載っていない。『京都府市町村のあらまし』も毎年刊行されている。

『京都市会史：京都市会のあゆみと各種資料：昭和 63 年 1 月～平成 30 年 3 月』(③) p. 54 の「議員定数の変遷」に、昭和 22 年 4 月～平成 27 年 4 月の京都市議会議員選挙の定数が掲載されている。

平成 26 年刊『京都府町村議会議長：創立 65 周年記念誌』(④) pp. 116-117 に「京都府町村議会 議員定数推移表（昭和 44 年～平成 26 年）」が載っている。市については記載がない。

上記以外にも、当館の蔵書検索システムで、キーワード「〇〇市／町／村△要覧」で検索し、各自治体が刊行した市勢要覧等の資料を調べる方法もある。

○鴨川の流れて階段のようになっている場所を、昔「ドント」といった記憶がある。このことを確かめたい。

【回答】

以下の資料①～⑦に、川や用水路の堰から水が流れ落ちるところを、水が流れ落ちる音から、京都の方言で「ドンド」（資料①～⑤）や「ドンドン」（資料⑥⑦）と呼ぶことが書かれていた。確認した資料からは「ドント」と呼ぶという記述は見られなかった。

『京都府方言辞典』(①) p. 365 に「ドンド」の項があり、「川の堰水の落ちるところ」との記述があった。

①の出典として『京ことば緊急調査保存会調査報告書』(②)、『加悦谷の方言：補遺』(③) が挙げられており、②の p. 209 及び③の pp. 9-10 にも掲載されていた。

③の出典として『日本国語大辞典，第 9 巻：ちゅうひ-とん』(④) が挙げられており、p. 1474 に記述があった。

『関西ことば辞典』(⑤) p. 229 にも、①～④と同様の記述あり。

『京ことばの辞典：どうどす』(⑥) p. 103 には、「どんどん」の項で、「川の堰から水がおちるところ（水が落ちる擬音語から）」との記述あり。どの場所を指すのか、渡月橋付近の桂川を例に、写真も掲載されている。

『京ことば辞典』(⑦) の p. 184 にも⑥と同様の記述があった。

○1995 年に京都に日本初のインターネットカフェができた事を調べている。その詳細が

わかる記事を探している。

【回答】

京都新聞連載の『平成の種：京の果実と課題』（①）の2019年1月5日掲載分に、「平成の種 京の果実と課題③ 平成7(1995)年 日本初のネットカフェ開店」の記事あり。

この記事によると、日本初をうたうインターネットカフェ「ネットサーフ」が1995(平成7)年6月に、京都市下京区の四条通に開店。元オーナーは川端保正氏。ネット人口を増やすための体験場としてはじめられた。料金はコーヒー・紅茶が飲み放題で1時間800円、一日中使っても上限は2000円。開業3年で会員数は3万8千人に上った。インターネットが家庭に普及し、2008年のスマートフォン登場と前後して閉店したことが記述されていた。

『京都府E L新聞記事情報リスト 1995』（②）の「産業」→「情報」の項のpp. 419-420により、「京都新聞」1995年6月1日朝刊30面に「インターネットお気軽に 1時間800円 10日オープン 京都に体験”カフェ”」という記事が掲載されていることが分かった。

『京都新聞, マイクロフィルム版』（③）で1995年6月1日朝刊30面を確認すると、資料②に書かれていた記事が掲載されており、次のように紹介されていた。

「ネットサーフ」はファーストサイバースペース社(川端保正社長)が開店。日本では初の試み。コンピューター15台を設置し、ソフトウェア「モザイク」を使用。1時間800円、一日中使っても上限は2000円。フロッピーディスクに記録して情報を持ち帰ることもできる。場所は下京区四条通高倉西入ル カワバタビル8階。営業時間は午前11時から午後7時。水曜定休。

インターネットでインターネットカフェの歴史に関する情報を探したところ、Yahoo! JAPANの「インターネットの歴史」というページが見つかった(④)。

(<https://about.yahoo.co.jp/20years/id/33> 最終確認日: 2021-05-23)

このページでは、1995年6月24日に渋谷に開店した「Electronic Cafe TOKYO」を日本初のインターネットカフェとしている(⑤)。

その他、当館所蔵のインターネットビジネス関係の資料2点『京都府内企業のインターネット利用実態調査報告書』(⑥)、『インターネットのビジネス活用実態調査報告書』(⑦)を提供したが、お探しの情報は掲載されていなかった。

○京都市上京区にある出水通付近に伝わる「出水の七不思議」について知りたい。

【回答】

『京都大事典』(①) p. 639に「出水七不思議」の項がある。この項では、京都市上京区にある出水通の付近に伝わる七不思議として、「1. 時雨松(華光寺)」「2. 応挙の幽霊(玉蔵院)」「3. 日限薬師(地福寺)」「4. 浮かれ猫(光清寺)」「5. 観音寺の山

門」「6. 金谷水（極楽寺）」「7. 寝釈迦（五劫院）」を簡単な説明とともに上げている。

『京の怪談と七不思議』（②）pp. 77-79 に出水通の七不思議として、以下の9点について解説している。解説は①よりもやや詳しい。

「1. 光清寺の浮れ猫」「2. 福勝寺九重桜」「3. 玉蔵院応挙の幽霊」「4. 華光寺時雨松」「5. 地福寺日限薬師」「6. 善福寺の本堂」「7. 五劫院の寝釈迦」「8. 極楽寺の両小袖門」「9. 観音寺の大門扉」

『京都文化の中心地上京今昔物語』（③）に掲載されている「出水不思議今昔物語」の p. 62 で、「善福寺の本堂」「福勝寺の九重桜」「玉蔵院の幽霊画」「華光寺の時雨松」「五劫院の寝釈迦」「光清寺の浮かれ猫」「観音寺の百叩きの門」「極楽寺の門」「地福寺の日限薬師」を紹介している。

『京都の七不思議，下（緑紅叢書；4の11（47））』（④）には「出水七不思議」は載っていないが、pp. 24-30 に「西陣の七不思議」が掲載されており、この中に出水の七不思議の一つ「桜寺（福勝院）の南庭の桜」が含まれている。

○1945（昭和20）年、太秦（うずまさ、京都市右京区）に空襲があったらしい。それは事実か。

【回答】

以下の資料①～⑥に、1945（昭和20）年4月16日に太秦に空襲があったことが記されている。

『かくされていた空襲：京都空襲の体験と記録』（①）の pp. 9-13 に掲載されている「1945（昭和20）年京都空襲被害一覧」の p. 10 に、1945年4月16日12:00に京都市右京区太秦巽町14、唐渡町19、東唐渡町ほか1か所に空襲があったことが書かれている。この一覧によると、1機のB29爆撃機が10発の爆弾を投下し、死者2名、負傷者48名、家屋7戸の被害が出ている。

同資料の p. 198 にも太秦の空襲の概要、pp. 199-200 には手記「班長に直撃弾」が載っている。

『京都の戦争遺跡をめぐる：丹後から南山城まで駆け足版：パンフレット』（②）p. 59「1945（昭和20）年京都空襲被害一覧」にも、①と同じ表が掲載されており、4月16日12:00に京都市右京区太秦巽町14、唐渡町19、東唐渡町ほか1か所に空襲があったことが書かれている。この一覧によると、被害状況は死者2名、負傷者48名、被害家屋7戸である。

『語りつぐ京都の戦争と平和』（③）pp. 218-219 に、京都市右京区太秦への1945年4月16日の空襲の被害状況が記載されている。それによると、死者2名、負傷者48名、被害家屋3戸である。

『かくされた空襲と原爆』（④）に掲載の「資料1 京都府下空襲一覧」p. 220 に、1945年4月16日12:00、京都市右京区太秦巽町、唐渡町、東唐渡町ほか1か所に空襲の被

害があったことが書かれている。この一覧によると、死者は2名、負傷者35名、被害家屋16戸である。

『戦後70年を考える：戦争体験の証言記録：過去を学び現在をみつめ未来を創るために』（⑤）に掲載の「京都南部の空襲と被害について」p.4に、右京区太秦への空襲について記載されており、三菱重工第14製作所ほか4か所に10発の爆弾が投下され、2名の死者と多数の負傷者が出たことが書かれている。

『戦後七〇年』（京都新聞の連載記事「戦後七〇年」（2015年1月30日～12月28日）を当館でスクラップしたもの（⑥））の2015年4月17日記事「太秦空襲の事実伝えたい」に、太秦の空襲について書かれている。三菱重工業京都機器製作所（当時の名称は第14製作所）への爆撃に関する証言が載っており、この記事によると、太秦空襲の被害は、死者2名、重傷11名、軽傷37名、半壊住宅3戸である。

* 当館では、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) に登録しています。当館で受け付けた相談事例の詳細は、上記より御覧いただけます。レファレンス事例の詳細検索画面から、検索項目：提供館名「京都府立京都学・歴彩館」で検索してください。

本年もこのデータベースに多くの事例を登録したことにより、昨年引き続き国立国会図書館長より御礼状の交付を受けました。

* 当館の資料を活用して調べものをしていただく際のガイドとして「調べ方ガイド」を作成しています。令和2年度には、「京都の画家等（江戸時代）の経歴を調べる」「京都の画家等（明治時代以降）の経歴を調べる」を新規公開しました。

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解読、整理・保存等についての相談に、面会や郵送等で対応するものです。今年度はカウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で35件の相談がありました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	116
複写申込件数	94
複写枚数	2,154

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	日本画	木島櫻谷「群芳之図」	1
2	個人	考古	梅ヶ畑遺跡出土 銅鐸	4
3	個人	日本画	栗田真秀「月前群雁」	1
4	個人	写真	昭和7年3月6日「日本女子風俗」集合写真	1
合計				4件 7点

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別	使用		利用	
	件数	冊(点)数	件数	冊(点)数
図書資料	16	83	36	81
図書・雑誌	4	33	14	34
古典籍	12	50	22	47
文書資料	12	41	48	245
古文書	7	23	26	180
行政文書	4	8	21	55
写真資料	0	0	0	0
近代文学資料	1	10	1	10
管理委託現物資料	29	42	29	42
合計	57	166	113	368

(2) 行政文書の自写の状況

743点 34,970枚

(3) 複写状況 (R2. 4. 1~R3. 3. 31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	6,414	123,530
	カラー		3,610
(撮影)※			(15,536)
画像プリント			2,293
マイクロリーダープリンター			4,430
国会図書館デジタル送信資料用端末による印刷	白黒		2,061
	カラー		93
京の記憶アーカイブ及び館内閲覧端末での印刷	白黒		15
	カラー		12
合計			6,414

※撮影は、複写枚数に含まない。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 37件、206点の貸与を行いました。

(1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
	なし		

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都文化博物館 特別企画展「池大雅 ～文人たちの交流～」	大雅堂画法	3
2	東北歴史博物館 特別展「伝わるかたち／伝えるわざ ～伝達と変容の日本建築～」	清紫両殿図、 清涼殿之図ほか	9
3	京都文化博物館 特別展「舞妓モダン」	観方創作版画、 麦僊画集ほか	5
4	茶道資料館 令和2年秋季特別展「北野大茶湯」	多聞院日記畧	1

5	京都文化博物館 総合展示「近代博覧会と京都の産業」	第四回内国京都府勸業博覧会図、京都博覧会場之図ほか	10
6	京都産業大学ギャラリー 第21回企画展「新嘗祭と歳旦祭 ～酒と神事の関わりを読み解く～」	萬葉集、大嘗宮之図ほか	14
7	京都文化博物館 特別展「よみがえる承久の乱」	吾妻鏡、承久記ほか	11

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都文化博物館 2020年度総合展示「明智光秀と戦国京都」	東寺百合文書、革嶋家文書ほか	26
2	京都市学校歴史博物館 企画展「近代京都の自然教育のあゆみーSDGs達成のためにー」	明石博高文書、上野家文書ほか	3
3	岐阜市歴史博物館 NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」	革嶋家文書	5
4	舞鶴引揚記念館 令和2年度第3回企画展「世界記憶遺産登録5周年記念企画展『世界の記憶』」	東寺百合文書レプリカ	2
5	大山崎町歴史資料館 第28回企画展「描かれた山崎合戦」	東寺百合文書	2
6	南丹市立文化博物館 令和2年度秋季特別展「八木城と内藤氏ー戦国争乱の丹波ー」	東寺百合文書	1
7	朝日町歴史博物館 令和2年度企画展「近代を生きた土佐派絵師 栗田真秀」	後素協会沿革一件資料	1
8	安城市歴史博物館 開館30周年記念特別展「家康と松平一族」	松平家資料、及川家文書	6
9	京都文化博物館 特別展「よみがえる承久の乱」	東寺百合文書 大西家文書・乙	18

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
	なし		

(5) 写真資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	なし		

(6) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	文化庁メディア芸術祭京都展「科学者の見つけた詩 ー世界を見つめる目」	吉井勇資料	1

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計21件(88点)の貸与を行いました。

貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点
1	奈良県立美術館	展覧会「みやびの色と意匠 公家服飾から見る日本美」に出品のため	日本画	西川祐信「源氏物語 図 若菜」ほか	3
2	田辺市立美術館	展覧会「絵本にみる日本画」に出品のため	日本画	入江酉一郎「絵本 竹取物語」原画ほか	11
3	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	猪熊佳子「森の王(京都府最大のブナ)」ほか	7
4	京都市美術館(京都市京セラ美術館)	展覧会「京都の美術250年の夢 第1部～第3部総集編」に出品のため	日本画 陶芸	広田多津「おしろい」ほか	3
5	京都府立堂本印象美術館	展覧会「小野竹喬・春男-父と息子の切ない物語-」に出品のため	日本画	小野竹喬「曇り日の海」ほか	2

6	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	曲子明良「丹後暮色」ほか	7
7	京都市歴史資料館	展覧会「鞍馬 くらしと行事」展に出品のため	工芸	緋威小札大鎧	1
8	兵庫県立歴史博物館	展覧会「女たちのひょうご」展に出品のため	日本画、染織、吉川風俗	高嵩溪「大石良雄室像」ほか	21
9	刀剣博物館	展覧会「日本刀 オモテとウラの世界」展に出品のため	日本画	(株)便利堂製《復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神雷神図、酒井抱一筆夏秋草図屏風》	1
10	内閣府迎賓館京都事務所	迎賓館における貴賓接遇に際し展示のため	日本画	上村淳之《鴛鴦》(いのち賛歌 15)	1
11	京都市考古資料館	展覧会「よみがえる京都のYayoi-同大生は見た！！-」に展示のため	考古	考古 0001 銅鐸ほか	4
12	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	澤野慎平《雪の塔》(こころの京都 16)ほか	7
13	朝日町歴史博物館	展覧会「企画展「近代を生きた土佐派絵師 栗田真秀」への展示のため」	日本画	栗田真秀《月前群雁》	1
14	染・清流館	展覧会「源氏を染める 兼先恵子」展に出品のため	染織	兼先恵子《覗き見る女》ほか	2
15	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画 洋画	浅野均《緑の南丹、亀岡盆地》(こころの京都 28)ほか	6
16	松伯美術館	展覧会「上村淳之米寿記念Ⅱ 上村松園・松篁・淳之三代展～鳥たちに魅せられて～」への展示のため	日本画	上村淳之《啼く》	1
17	内閣府迎賓館京都事務所	迎賓館における貴賓接遇に際し展示のため	日本画	上村淳之《鴛鴦》(いのち賛歌 15)ほか	2

18	下関市立歴史博物館	展覧会「海峡に魅せられた幕末の英傑」に出品のため	歴史	「七卿落図屏風」ほか	3
19	東京藝術大学大学美術館 岡崎市美術博物館 公益財団法人佐野美術館	展覧会「渡辺省亭-欧米を魅了した花鳥画」への展示のため	日本画	渡辺省亭《伊賀の局と天狗》	1
20	島根県立美術館	展覧会「生誕100年 回顧展 石本 正」に出品のため	日本画	石本正《清水三年坂（産寧坂）》（京の百景 76）	1
21	南丹市立文化博物館	展覧会特別展「岡村宇太郎展-花鳥動物画の魅力-」への展示のため	日本画	岡村宇太郎《白鷺》ほか	3
合計 21 件 88 点					

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、20館、62冊の貸出し、5館、9冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	4	4	南丹市立中央図書館	3	-
京都市中央図書館	7	-	福知山市立図書館中央館	2	-
京都市右京中央図書館	1	-	舞鶴市立東図書館	2	-
京都市北図書館	1	-	舞鶴市立西図書館	2	-
京都市向島図書館	1	-	宮津市立図書館	-	2
京都市 子どもみらい館子育て図書館	1	-	与謝野町立図書館野田川分室	2	-
長岡京市立図書館	7	-	与謝野町立図書館加悦分室	1	-
京田辺市立中央図書館	9	-	京都府立医科大学附属図書館	11	-
木津川市立中央図書館	1	-	京都工芸繊維大学附属図書館	4	1
精華町立図書館	1	1	京都橘大学図書館	1	-
南山城村図書室	1	-	京都大学附属図書館	-	1
計				62	9

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、令和2年度の借受利用はありませんでした。

10 共催事業等

○ 日本文化史研究3・4

京都府立大学文学部歴史学科の授業「日本文化史研究3・4」を当館にて実施しました。当館の所蔵資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

(授業期間：令和2年度前期(夏期集中講義)・後期(15回)、受講者：7人、展覧会会期：令和2年12月12日(土)～令和3年1月10日(日))

○ 資料で親しむ京都学

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「資料で親しむ京都学（リベラルアーツ・ゼミナール）」を開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。（期間：令和2年度後期（15回）、受講者：9人）

○ 「京都文化体験」（京都府立鴨沂高等学校）

京都府立鴨沂高等学校の土曜授業「総合的な探究の時間・京都文化体験」を当館にて実施しました。（令和2年9月26日（土）、11月7日（土）の2回実施。生徒は各13人、引率教諭、各1人）

授業では、京都府立京都学・歴彩館と京都府立鴨沂高等学校が所蔵する古典籍に押印された蔵書印について、実際に蔵書印が押印された古典籍を見ながら解説しました。

また、鴨沂高校の前身である女紅場や京都府立京都第一高等女学校に関する資料も閲覧しました。

○ 指定管理者(コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体)主催事業（当館共催）

事業名	年月日	参加者数
書物・和紙・文学 —寿岳文章の豊かな世界—	令和2年12月20日（日）	39人 小ホール
京都府ミュージアムフォーラム パネル展示	令和3年 2月7日（日）～2月14日（日）	96人 小ホール
パネル展「京都学・歴彩館の所蔵資料 で綴る京都の明治150年」	令和3年 2月20日（土）～2月28日（日）	170人 小ホール
親子朗読ワークショップ 「へんてこ食堂」	令和3年3月27日（土）	15人 小ホール

○ 新聞連載

「京都新聞」（毎月第三土曜日朝刊、教育面）に、歴彩館所蔵の古典籍を紹介するコラム「遊びをせんとや」を連載。（京都府立大学教員と共同執筆）

	日付	内容	執筆者
122	令和2年4月18日	賦何船連歌	京都府立大学准教授 竹島 一希
123	令和2年5月16日	三養雑記	資料課 大瀧 徹也
124	令和2年6月20日	小夜嵐物語	京都府立大学教授 藤原 英城
125	令和2年7月18日	本朝文粹	京都府立大学准教授 仁木 夏実
126	令和2年8月15日	都名所図会	資料課 吉田 奈央
127	令和2年9月19日	公事根源	京都府立大学准教授 鳴海 伸一
128	令和2年10月17日	維摩詰所説経	資料課 合田 淳

129	令和2年11月21日	猿源氏草紙	京都府立大学教授 安達 敬子
130	令和2年12月19日	藝文類聚	京都府立大学教授 林 香奈
131	令和3年1月16日	元三大師御鬮繪抄	資料課 松田 万智子
132	令和3年2月20日	倭玉篇	京都府立大学講師 藤本 灯
133	令和3年3月20日	楳嶺百鳥畫譜	資料課 藤本 恵子

「京都新聞」（毎月第四金曜日朝刊、地域プラス）「京の史新 学芸員の視点から」を連載
（京都文化博物館学芸員と共同執筆）

	日付	内 容	執筆者
1	令和2年5月22日	明智風呂（妙心寺）	副館長 平井 俊行
2	令和2年6月26日	祇園祭りと京都の絵師	京都文化博物館 橋本 章
3	令和2年8月28日	町有文書（御倉町）	京都文化博物館 西山 剛
4	令和2年9月25日	平安貴族の日記	京都学推進課 吉岡 直人
5	令和2年10月23日	幕末の志士 三国幽眠	京都文化博物館 畑 智子
6	令和2年11月27日	細川持賢と室町時代の京都	京都学推進課 川口 成人
7	令和3年1月22日	天和3年の京都事件簿	京都学推進課 寺嶋 一根
8	令和3年2月26日	平安京羅城門	京都文化博物館 村野 正景
9	令和3年3月26日	「無産」という政治文化 -上田蟻善の軌跡	京都学推進課 杉本 弘幸

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・ 図書資料

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物（写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。）及びこれに準ずる資料

- ・ 古文書

- ・ 行政文書

- ・ 写真資料

- ・ 近代文学資料

- ・ 管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)	
京都資料	305	1,339	251	1,895	
京都に関連するその他の資料 (歴史、美術、宗教等)	247	892	86	1,225	
官庁資料	京都関係	82	416	250	748
	国・他府県	124	136	34	294
合計	758	2,783	621	4,162	

ア 歴史・地誌

書名	著編者等
植物園北遺跡発掘調査報告書	地域文化財研究所編
令和大嘗祭主基斎田の記録	京都府南丹市八木町氷所区編
古文書の伝来と歴史の創造 : 由緒論から読み解く山国文書の世界	坂田聡編
戦国末期の足利将軍権力	水野嶺著
明智光秀と戦国京都 : 令和二年(二〇二〇)京都文化博物館総合展示	京都文化博物館, 京都府立大学編
平城京のごみ図鑑 : 見るだけで楽しめる! : 最新研究でみえてくる奈良時代の暮らし(視点で変わるオモシロさ!)	奈良文化財研究所監修
ふるさとは丹後通信 3	髭じいじ著
山科の産業・建築遺産(山科の歴史探訪:10)	山科の歴史を知る会編集
城陽の歴史 : 山城の陽のあたる街	村本幹夫著
伊根浦ものがたり : 子どもたちにおくる : 鯨も北前船もやってきた	伊根浦舟屋群等保存会企画・制作/折戸和代文/石井順子, 當間一弘絵
幕末から明治の暮らし : 転換期に生きた丹波の人びと : 令和2年度郷土資料解説書	南丹市立文化博物館編
生産・流通 上・下(郷土史大系 : 地域の視点からみるテーマ別日本史)	阿部猛ほか編
京都府人物・人材情報リスト 2021(第1-4巻)	日外アソシエーツ株式会社編集制作
大正天皇実録 補訂版 第5	宮内省図書寮編修
ゾルゲを助けた医者 : 安田徳太郎と「悪人」たち	安田一郎著/安田宏編

森幸安の描いた地図 増補改訂 (日文研叢書. Nichibunken Japanese studies series)	辻垣晃一, 森洋久編著
山家城と山家陣屋	綾部市観光協会 : 綾部市観光交流課
京都を学ぶ : 文化資源を発掘する 洛西編	京都学研究会編
若狭街道と鞍馬	中村治著
先進の運河・高瀬川と日本初の路面電車 : のこしたえる町の記憶 : 下京区140周年記念	高瀬川ききみる会 : 佛教大学社会学部 公共政策学科堀江典子研究室

イ 宗教

書名	著編者等
日本思想史事典	日本思想史事典編集委員会編
賀茂信仰の歴史と文化 (神社史料研究会叢書:6)	橋本政宣, 宇野日出生編
京都東山・三嶋神社文書調査報告 (京都府立大学文化遺産叢書:第18集)	東昇, 水谷友紀編集
松尾大社史料集 記録篇4	松尾大社史料集編修委員会編修
日本仏教と西洋世界 (龍谷大学アジア仏教文化研究叢書:12)	嵩満也, 吉永進一, 碧海寿広編
近世・近代の尼僧の社会活動 : 尼門跡の支持者と一般尼寺との比較を通して(科学研究費助成事業基盤研究(C):(一般)研究成果報告書:平成28年度-31年度)	岸本香織編
古代寺院史の研究	菱田哲郎, 吉川真司編
英語で話す「京都寺社ガイド」(対訳ニッポン)	紫紅社編
清水寺成就院日記 初版 第5巻	清水寺史編纂委員会編
近世の天台宗と延暦寺	藤田和敏著
古代寺院の生き残り戦略 : 資財帳が語る平安時代の広隆寺	上原真人著
知恩院史料集 日鑑篇33	総本山知恩院史料編纂所監修・編集
戦国期宗教勢力史論	安藤弥著
本願寺教如教団形成史論	大桑斉編著
中世禅への新視角 : 『中世禅籍叢刊』が開く世界 (中世禅籍叢刊:別巻)	阿部泰郎, 末木文美士編集責任
隠元と黄檗宗の歴史	竹貫元勝著
足利将軍と中世仏教 (相国寺研究:10) (教化活動委員会研修会講義録:平成29年度~30年度)	芳澤元著/相国寺教化活動委員会編

ウ 芸術

書名	著編者等
高山寺の美術：明恵上人と鳥獸戯画ゆかりの寺	土屋貴裕編
歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子著
日本の表装と修理	岩崎奈緒子ほか編集
江戸の花鳥画譜	狩野博幸監修
名刀大全	渡邊妙子，原田一敏監修
近代京都日本画史	植田彩芳子ほか著
三冊名物記：今日庵文庫本：影印・翻刻	茶道資料館監修
古浄瑠璃・説経研究：近世初期芸能事情 上・下巻	阪口弘之著
日本大道芸事典	光田憲雄著
Made in Kyoto：京都の匠	前崎信也，山本真紗子編
日本印刷文化史	印刷博物館編
有職の色彩図鑑：由来からまなぶ日本の伝統色	八條忠基著
山中商会经手中国艺术品资料汇编 1-4	金立言编译
円山応挙から近代京都画壇へ	平井啓修，古田亮，朝日新聞社編集/マーサ・マクリントク翻訳
Miho Museum コレクションの形成：日本絵画を中心に	Miho Museum 編集
京都彫刻家協会：創立50周年記念誌	京都彫刻家協会
土佐派と住吉派：やまと絵の荘重と軽妙：特別展	和泉市久保惣記念美術館編
猿描き狙仙（そせん）三兄弟：鶏の若冲、カエルの奉時も：特別展	大阪歴史博物館，熊本県立美術館，NHK プラネット近畿企画・編集
Sompo 美術館収蔵山口華楊《葉桜》修復事業報告	武笠由以子編集
京都の美術250年の夢：京都市京セラ美術館開館記念展 第1-3部	京都市美術館編
森寛斎と森派の絵画：寛斎・祖仙・周峯・徹山・一鳳	花園大学歴史博物館編
きもの：特別展	東京国立博物館，朝日新聞社編
知りたい!日本の伝統音楽 1-3	ミネルヴァ書房
青山音楽財団設立30周年記念誌	青山音楽財団
京都産業大学硬式野球部創部50年史	京都産業大学硬式野球部50年史部会編

同志社スポーツの歩み : 1875-2019 第3版	同志社スポーツユニオン『同志社スポーツの歩み第三版』編集委員会編集
----------------------------	-----------------------------------

エ 社会・産業

書名	著編者等
城巽尋常小學校増築記念帖	城巽尋常小學校
綾部市立綾部幼稚園創立 100 周年記念誌 : 2000	綾部幼稚園 100 周年実行委員会
室町時代の祇園祭	河内将芳著
京北の昔がたり : 「続・京北の昔がたり」合本版	京北の文化財を守る会編
粹(すい)の研究 : 京都北野上七軒の芸の語りを中心に	中原逸郎著
銅駝校 150 年のあゆみ	銅駝自治連合会・銅駝校 150 周年実行委員会編
おとぎ話ふしみの桃太郎	嵯峨昌紀作画/嵯峨牧子現代語訳
近代京都の自然教育のあゆみ : 図録 : SDGs 達成のために	林潤平著
踐祚・即位 1 (皇室制度史料・儀制)	宮内庁書陵部編纂
花山天文台 80 年のあゆみ : 花山天文台創立 80 周年記念誌	花山天文台 80 周年記念誌編集委員会編集
京の学塾(まなびや) 山本読書室の世界	松田清著
優生保護法関係資料集成 編集復刻版 第 1-2 巻	松原洋子編
前近代日本の病気治療と呪術	小山聡子編
擬「琵琶湖疏水」事業計画の誕生とその消滅	末尾至行著
ユニチカ百年史 上下	ユニチカ社史編集委員会編集
福田金属箔粉工業 300 年史	福田金属箔粉工業 300 年史編集委員会編集
国宝教王護国寺大師堂(西院御影堂)修理工事報告書	京都府教育委員会編
一粒のタネ : タキイ種苗百八十年史	タキイ種苗百八十年史編纂委員会編纂

オ 参考図書

書名	著編者等
中近世移行期の文化と古活字版	高木浩明著

本の玉手箱 : 国立国会図書館70年の歴史と蔵書 : 開館70周年記念展示	国立国会図書館編
図書館の新型コロナ対策ガイド	吉井潤著
認知症にやさしい図書館ガイドライン	超高齢社会と図書館研究会
岡崎110年京都府立図書館	京都府立図書館著
博物館と文化財の危機	岩城卓二, 高木博志編

カ 官庁資料

区分	書名	著編者等
京都関係	南丹市子どもの未来応援プラン : 子どもの貧困対策推進計画	南丹市福祉保健部子育て支援課編
	創精記 : 精華町町勢要覧 : 人を育み未来をひらく	精華町
	京都府文化財保存活用大綱	京都府教育委員会
	府民と共に歩む With コロナ・Post コロナ社会 : 夢や希望が持てる新しい京都へ : 内外情勢調査会知事講演	京都府広報課編/西脇隆俊 述
	京都府女性の船 40 周年記念誌	京都府府民環境部男女共同参画課編
	インターネット上の人権侵害に対する通信業界の取り組み (人権啓発指導者養成研修会の講演から: 令和元年度)	桑子博行述
	火災から命を守る避難	京都市消防局予防部予防課
	城陽市防災ブック : 洪水・土砂災害・地震災害の準備	城陽市危機・防災対策課
	SDGs ハンドブック : 持続可能な開発目標	相楽郡広域事務組合
	生活衛生営業新型コロナウイルス感染症対策実施中 : 業種別ガイドラインに基づく取組事例集	京都府生活衛生営業指導センター
	京(みやこ)のみち, かわ, 公園・みどり : 持続可能で安心・安全な市民が主人公のまちづくり	京都市建設局建設企画部建設企画課
	いのちの輝き見守りプラン	笠置町保健福祉課, 和束町福祉課, 南山城村保健福祉課編
	京丹後ご当地米リスト	京丹後市役所農林水産部農業振興課
	宮内庁京都事務所年報 1 (令和元年度)	宮内庁京都事務所編集

国	コロナ危機：日本経済変革のラストチャンス（経済財政白書：令和2年版）	内閣府編
	新たな「価値」を生み出す中小企業（中小企業白書：2020年版：上）（小規模企業白書：2020年版：上）	中小企業庁編
	高校生のオンライン学習に関する意識調査報告書：日本・米国・中国・韓国の比較	国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター編
	5Gが促すデジタル変革と新たな日常の構築（情報通信白書：令和2年版）	総務省編
	社会と暮らしのデザイン改革：国土交通省20年目の挑戦（国土交通白書：2020 令和2年版）	国土交通省編

キ 古典籍

資料名	著編者等
真如堂縁起 3巻	後柏原院ほか詞/掃部助久國繪
京名所	松川半山画
嵯峨名所細考記	
峨山覽勝志	
洛陽風集	
都仁志喜 2巻	

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,595	3	1,010
一般(歴史・美術・官庁等)	3,043	70	714
京 都 官 庁 関 係	896	—	262
計	7,534	73	1,986

本年度は新規タイトルとして『京都府紀伊郡公報』（明44～大2）などを収集しました。

(2) 古文書

写真1件、高札1件、文書4件の寄贈申出を受け、整理作業を進めています。

(3) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は有期限保存文書を、以下のとおり483点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完結年度	点数	完結年度	点数
本年度の移管なし		平成20年度～平成26年度	453
		京都土木事務所	30
		合計	483

(4) 写真資料

本年度は収集なし

(5) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	令和2年度収集			累計(令和3年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合計	—	—	—	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万コマ	平成26年 3月～
京の記憶アーカイブ		
図書資料	約48.6万コマ	平成27年11月～

	古文書	約2.1万コマ	
	写真資料	約7.9万コマ	
	美術工芸品他	約0.8万コマ	
	行政文書	約4.9万コマ	

(令和3年3月31日現在)

* 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」により図書資料（古典籍）約3万コマを撮影（公開は次年度以降の予定）

(6) 燻蒸

本年度は、平成元年度から令和2年度に寄贈を受けた古文書・古典籍について、令和3年3月に燻蒸を行いました。

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は6件1,196点で、明細は次のとおりです。

部門	資料区分	資料名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	① 諸工芸	石田征希「蓋物（飛鳥の春）」ほか	3	寄贈	近藤 澄子
	① 金工	高瀬孝信「截金団扇型干菓子盆」ほか	2		
	② 日本画	岡本大更「竹林七賢図」	1	寄贈	星野 桂三
	③ 日本画	横山華山「万才 正月」ほか	8	寄贈	内藤 薫
	③ 歴史	内藤家旧蔵文書資料	1,105		
	④ 日本画	田村宗立「貞松院浅子繡像」ほか	32	寄贈	明石 博臣
	④ 書	槇村正直「萬物化成」ほか	10		
	④ その他	五丸屋大木平蔵「五月人形一式（神武天皇・従者・神馬）」ほか	29		
	⑤ 日本画	田代正子「宴の日」	1	寄贈	河野 敬雄
	⑥ 歴史	金座極印ほか	5	寄贈	後藤 和子
合計		6件 1,196点			

1 2 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書(電子公文書を含む)のうち、保存期限が経過した有期限保存文書から453点を選別しました。

1 3 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料5点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手当を行いました。

1 4 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

同志社大学学生 令和2年8月25日～8月27日(3日間) 1人
令和2年9月1日～9月3日(3日間) 1人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

1 5 新聞掲載

年月日	新聞名	見出し
令和2年 4月3日(金)	京都新聞	歴彩館など7施設臨時休館を延長 一般公開中止も
令和2年 5月20日(水)	京都新聞	青少年科学センター、府立京都学・歴彩館… 屋内公共施設再開へ知恵
令和2年 6月1日(月)	産経新聞	京都学研究員として来日 パベル・スミルノフさん 「辞官申任」京都との縁に 日本の歴史 どんどん追求したい
令和2年 6月17日(水)	読売新聞	光華女子大教授 洛西の文化語る (京都を学ぶセミナー)

令和2年 6月18日(木)	朝日新聞	講座 京都を学ぶセミナー【洛西編】
令和2年 7月25日(土)	産経新聞	日本文化 世界へ発信 京都学・歴彩館 海外若手研究者招く
令和2年 8月7日(金)	京都新聞	戦後 京滋の記憶 戦争の史実 次代に 舞鶴と京の生徒 オンライン交流 (ラウンジミニ講座)
令和2年 8月7日(金)	毎日新聞	戦後 75年 京都と舞鶴の中高生 オンラインで語り合う 次代継ぐのは私たち (ラウンジミニ講座)
令和2年 8月7日(金)	朝日新聞	告知板 京都を学ぶセミナー【洛西編】
令和2年 8月12日(水)	京都新聞	京都の歴史 所蔵品伝え 左京・歴彩館で展示会 宮内庁の風 俗歌屏風など36点
令和2年 8月14日(金)	京都新聞	府内の祭りや行事 冊子で紹介 「京都の祭り・行事」
令和2年 8月23日(日)	産経新聞	府内の逸品 一堂に 京都学・歴彩館で企画展
令和2年 8月27日(木)	毎日新聞	京都の歴史をたどる 左京・歴彩館 府内7博物館の所蔵品もとに
令和2年 9月2日(水)	朝日新聞	所蔵品でたどる 京の歴史 左京「大饗の儀」で披露の屏風も
令和2年 9月3日(木)	読売新聞	京の歴史 彩る36点 京都学・歴彩館
令和2年 9月5日(土)	京都新聞	京の情景、乱世の二面性探る 永田京大名誉教授と呉座日文 研助教講演
令和2年 9月30日(水)	京都新聞	地形が語る 京滋郷土史 京都学・歴彩館の金田館長 新著2冊 「風景 客観的に見るコツを」
令和2年 10月14日(水)	京都新聞	天橋立の魅力 歴史的に迫る 左京で連続講座
令和2年 10月14日(水)	京都新聞	映画への思いを語ろう 左京で来月14日 京出身・監督中野さん×作曲家渡邊さん
令和2年 11月6日(金)	京都新聞	ソフィア 京都新聞文化会議 ポスト獲得と平安期の親心 パベル・スミルノフ氏
令和2年 11月26日(木)	京都新聞	庶民の歴史刻む断片 「上野家文書」ほか(ミュージアムの ちから コロナ禍に考える 37)

令和2年 12月4日(金)	京都新聞	ソフィア 京都新聞文化会議 電子史料で肉薄 御所の造営 海野 聡 氏
令和2年 12月20日(日)	読売新聞	鴨川を美しく 写真パネル展 (ラウンジ展示)
令和3年 1月21日(木)	京都新聞	市民版 地域 「鴨川を美しくする会」歩み紹介 左京で写真展 日頃の活動風景など40点

16 施設の状況

○令和3年3月31日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積	116,932.79 m ²	
建物面積	6,716.04 m ²	延 23,940.68 m ²
建設費	約100億円	
構造	鉄骨造 地上4階 地下2階	

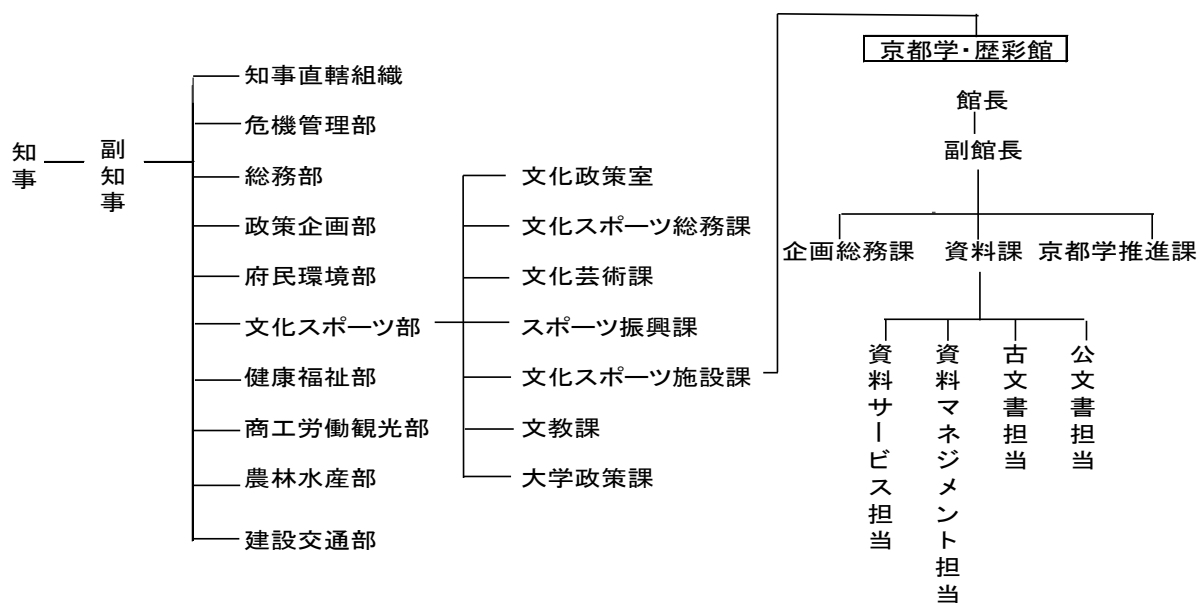
主要室の規模

1 階		2 階		地下1階		地下2階	
学習室	160 m ²	図書閲覧室	1,259 m ²	書庫・収蔵庫	3,447 m ²	書庫・収蔵庫	3,517 m ²
展示室	290 m ²	(開架書庫含)					
大ホール	511 m ²	府大閲覧室	2,012 m ²	撮影室	73 m ²		
小ホール	199 m ²	(書庫含)					
京都学ラウンジ	151 m ²						
京都学研究室	142 m ²						
府大書庫等	177 m ²						

17 組織・職員数・業務分担・予算

(1) 組織

○令和3年4月1日現在



(2) 職員数

○令和3年4月1日現在（京都学・歴彩館）

	職 員（再任用を含む）	会計年度任用職員等
館 長	-	1
顧 問	-	1
副館長	2	-
企画総務課	5(※)	1
資料課	23	13
京都学推進課	4(※)	3
計	34	19

(※) 副館長は、それぞれ企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であるが、再掲していない。

(3) 業務分担

ア 企画総務課

- 1 館運営等に関する事。
- 2 館発信事業の推進等に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 連絡調整に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関する事。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関する事。
- 8 (公財) 京都文化財団への業務委託等に関する事。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さない事。
- 10 保安業務に関する事。

イ 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収集並びに整理・保存に関する事。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関する事。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関すること。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関すること。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況 (令和3年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)	26,277	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費	69,990	
重要文化財京都府行政文書修理事業費	(4,957)	京都府行政文書の修理・補修費用
京都学・歴彩館展示室運営事業費	(3,656)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
文化資料業務委託事業費	(61,377)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費	33,619	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費	11,705	京都の歴史、文化に関するフォーラム等を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計	141,591	

18 令和2年度の主な活動

2. 4. 1 一部指定管理者制度を導入
2. 4. 1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館 (～5. 19)
2. 4. 16 令和2年度海外若手研究員「京都学研究員」受入開始 (～3. 3. 15)
2. 5. 18 非来館レファレンス等サービスを開始
2. 5. 20 予約制にて開館 (開館時間：9時～17時 座席：12席1回90分)
2. 6. 1 図書は予約不要に。公文書・古文書は時間を1回150分に延長
2. 6. 4 京都学ラウンジミニ講座令和2年度第1回開催、以降3月まで全28回開催
2. 6. 13 府民協働連続講座開始
2. 6. 23 京都を学ぶセミナー「洛西編」第1回開催

- 2. 7. 1 「月間茶の間」 9月号取材対応
- 2. 7. 21 京都を学ぶセミナー「洛西編」第2回開催
- 2. 8. 8 京都を学ぶセミナー「洛西編」第3回開催
- 2. 8. 22 京都府ミュージアムフォーラム講演会
- 2. 8. 24 文部科学大臣が京都府立京都学・歴彩館（京都学推進課）を科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関に指定
- 2. 8. 25 図書館実習生受入（同志社大学）（～8.27、9.1～9.3）
- 2. 8. 27 海外若手研究員による府民向けセミナー第1回開催
- 2. 9. 3 海外若手研究員による府民向けセミナー第2回開催
- 2. 9. 8 京都を学ぶセミナー「洛西編」第4回開催
- 2. 9. 10 西山文庫運営委員見学受入
- 2. 9. 14 図書館司書専門講座派遣（東京都）（～9.18）
- 2. 9. 26 京都府立鴨沂高等学校の土曜授業「総合的な探究の時間・京都文化体験」を実施
- 2. 9. 30 「洛東の文化資源」共同研究会の報告書作成
- 2. 10. 1 閲覧席数制限を緩和
- 2. 10. 8 天橋立世界遺産講座開始
- 2. 10. 10 京都女子大学博物館実習II対応
- 2. 10. 13 京都外国語大学附属図書館視察受入
- 2. 10. 20 京都を学ぶセミナー「洛西編」第5回開催
- 2. 10. 24 京都府立大学日本古文書史料演習授業対応 全5回（10/24, 11/22, 12/13, 12/19, 1/15）
- 2. 10. 25 国際研究集会「御所（宮殿）・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」開催
- 2. 10. 31 京都府立大学日本古文書史料演習II授業対応 全4回（10/31, 11/7, 11/14, 11/21）
- 2. 11. 4 外務省外交史料館視察受入
- 2. 11. 7 京都府立鴨沂高等学校の土曜授業「総合的な探究の時間・京都文化体験」を実施
- 2. 11. 10 京都を学ぶセミナー「洛西編」第6回開催
- 2. 11. 17 国文学研究資料館と「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書」を締結
- 2. 11. 25 京都府立大学文学部和食文化学科ガイダンス・見学・閲覧受入
- 2. 12. 7 日本名作映画上映会開催
- 2. 12. 7 同志社大学免許資格課程センター客員研究員・フランス国立サンテチェンヌ大学図書館長 Brigitte RENOUF氏視察受入
- 2. 12. 8 京都を学ぶセミナー「洛西編」第7回開催
- 3. 1. 27 京都を学ぶセミナー「洛西編」第8回開催
- 3. 3. 6 東寺百合文書展講演会
- 3. 3. 14 陽明文庫講座開催
- 3. 3. 22 『京都学・歴彩館紀要 vol.4』発刊

19 沿革

【(旧)総合資料館】

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号）
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙行。翌 16 日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係）
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3 部 9 課）
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3 部 1 室 9 課）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治 18 年～昭和 44 年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の 3 部 1 室 5 課）
45. 9. 22 「館藏品陳列場」（現・2 階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成（鉄筋コンクリート 2 階建 延 274.76 m²）

- 46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
- 47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
- 49. 4 有形民俗資料調査を開始
- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催

59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟襷文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12 「古文書相談」を開始
63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和 63 年 10 月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和 63 年条例第 3 号）を制定公布
63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の 3 課 2 係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第 1 回「文化講座」を開催
2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
5. 4. 1 定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
5. 11. 7 開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖

- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される
- 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
- 14. 7. 19 ホームページを開設
- 14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
- 14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
- 15. 11. 15 開館40周年を迎える
- 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
- 19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
- 21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」
～11. 26 を開催
- 22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
- 23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
- 23. 11. 16 新資料館設計協議結果展
～22

- 24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
- 24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館 50 周年を迎える
- 25. 11. 16 開館 50 周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 8. 1 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究の開始
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 1. 27 「京都を学ぶセミナー」を開始
- 29. 2 公益財団法人 陽明文庫所蔵資料のデジタル画像の収集及び館内公開に関する覚書締結
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
陽明文庫デジタル画像閲覧を開始
- 29. 7 海外若手研究員に係る世界の主要な日本文化研究機関との連携及び覚書締結開始(令 3. 3 月末現在 計 7(海外 4・国内 3) 機関)
- 29. 7. 6 「京都学ラウンジミニ講座」を開始
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転
- 29. 12. 6 「古文書ヨル学会ー入門編ー」を開始

- 29. 12. 12 「資料に親しむ会」を開始
- 30. 1. 9 海外若手研究員 受入開始
- 30. 2. 16 「海外若手研究員による府民向けセミナー」を開始
- 30. 5. 25 「京都の出版社に聞く」を開始
- 30. 10. 1 京都学ラウンジ倶楽部の発足
- 30. 11. 10 「陽明文庫講座」を開始
- 30. 12. 4 独立行政法人国際交流基金京都支部と共催の日本名作映画上映会を開始
- 31. 3. 23 京都府文化賞受賞記念の公演等開始
- 31. 4. 1 人間文化研究機構総合地球研究所との学術交流・協力に関する基本協定書の締結
- 令和元. 6. 1 府民協働連続講座開始
 - 2. 4. 1 一部指定管理者制度を導入
 - 2. 4. 1 北山プロムナード供用開始
 - 2. 8. 24 文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関として指定される【登録機関の名称：京都府立京都学・歴彩館（京都学推進課）】

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（令和3年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	※ 18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
	ユネスコ 「世界の記憶」 (平27.10.10 登録)			
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18,705点のうち、国宝が18,646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

京都府立京都学・歴彩館資料収集方針

令和2年4月1日

京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため、以下の収集方針を定める。

収集した資料は、適切な保存環境のもとで永年保存し、後世に伝える。また、収集した資料を利用に供し、デジタル化をはじめとする媒体変換等の手段を講じる。

なお、行政文書の移管又は引渡しなどは、別の規程等による。

I 図書資料等収集方針

1 基本方針

京都に関する専門図書館機能を十分に発揮するために必要な資料を収集する。資料の収集は、購入及び寄贈等による。非市販資料も対象とする。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

① 京都に関する資料

ア 現在の京都府の行政区域内に関する内容を含む資料を網羅的に収集する。

イ 「京都府文書の保管、保存等に関する規程」に基づき当館に送付される資料をはじめとする京都府が発行する資料を収集する。

ウ 京都府内の自治体が発行する資料を収集する。

エ 京都府内の団体や個人が発行する資料について、収集に努める。

② 京都に関する調査研究に必要な資料

ア 京都の位置づけを理解するために必要な資料を収集する。

イ 所蔵する図書資料・古典籍・古文書・公文書等について理解するために必要な資料及び館の運営に必要な資料を選択的に収集する。

ウ 古典籍は、資料の来歴も考慮して選択的に収集する。

エ 収集にあたっては、京都府立大学附属図書館及び京都府立図書館蔵書に留意する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

ア 図書

イ 雑誌・新聞及びフリーペーパー

ウ 近世以前の古典籍、漢籍等の古書

エ その他必要な資料

II 古文書収集方針

1 基本方針

地域の記憶となる京都に関する歴史資料を収集する。原本の受入は寄附・購入を基本とする。寄託は原則受けない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 幕府・藩・公家・寺社等の領主、大庄屋等の文書、仲々間（同業組合）文書、組合・会社文書等、広範な地域・組織に関わる文書を収集する。

イ 町文書・村文書など市町村が収集した方が適当と思われる資料は市町村と調整する。

ウ 個人的な資料（私的書状・書類・日記等）は基本的に収集対象としないが、京都の歴史に関わると評価できる場合は収集する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

原本の受入だけでなく、複製物（画像・写真等）での収集を行う。

III 写真資料等収集方針

1 基本方針

京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料を収集する。芸術性を追求した作家の作品は収集しない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 京都の社寺・名所・祭礼・風俗・街並み・建物・風景・人物・事件等を撮影したもので、京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

イ 日本の歴史的な風景・資料等で特に記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

希少性が高いガラス乾板を中心として収集する。

